

写真で振り返る  
**3・4月の出来事**



**3月16日(月) 第2回町民まちづくり講座**

農村環境改善センターで、第2回町民まちづくり講座が開催されました。倶知安のNPO法人WAOニセコ羊蹄発見の会と協力してエキノコックスの感染実態調査と駆除活動をしている倶知安町風土館の学芸員岡崎さんをお招きし、喜茂別町における「キツネのエキノコックス感染の実態」調査結果の詳細な報告をいただきました。その結果を受けて、全町域に虫下し薬を含んだキツネの餌をまき、エキノコックスをなくす活動を行うことが話し合われました。



**3月28日(土) 羊蹄山麓カラオケ会交流会が開催**

第39回羊蹄山麓カラオケ会交流会が、農村環境改善センターで開催されました。羊蹄山麓6町村のカラオケ愛好会10団体が、会場持ち回りで年一回一堂に会し、自慢の喉を競いながら交流を深めることを目的としています。今回は、喜茂別からの参加者14名を含む、108名の参加となりました。喜茂別カラオケ同好会の伊藤順一会長が歓迎のあいさつを行った後、歌唱発表が行われ、大いに盛り上がりました。次回開催地は、京極町です。

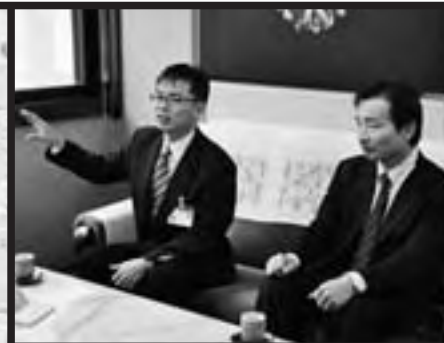


**4月1日(水)、7日(火)  
新入生に交通安全の鈴がプレゼント**

喜茂別保育所の入所式が終わった会場で、新たに入所した園児と進級した園児の一人ひとりに、商工会女性部から黄色い毛糸の交通安全ベルがプレゼントされました。不思議そうに鳴らしてみている子もいます。また、喜茂別小学校の入学式が終わって教室に戻った新1年生にも、商工会女性部はこの交通安全ベルを贈りました。「毎日学校に通うときは車に気をつけてね。」「前にももらったことあるよ。」女性部のこの活動は昭和52年から続いています。

**4月1日(水)  
喜茂別保育所で入所式**

喜茂別保育所に今年新たに入所する園児は、この日の入所式に参加した5人と後日加わる2人です。この結果、保育所の園児は65人となります。入所式では、佐藤昌昭所長、菅原章嗣町長、渡辺秋雄喜茂別小学校校長、そして、父母と保育士の会の会長酒井一康さんがあいさつしました。あいさつのなかで、今年11月には新しい保育所がオープンすることが伝えられました。最後に園児と職員との紹介が行われました。



**3月19日(木) 松永和之さん、海外青年協力隊でマラウィ共和国に**

喜茂別町(緑町)出身の松永和之さん(写真左)が、JICA札幌の石井潔さんと共に菅原章嗣町長を訪れ、青年海外協力隊の一員としてアフリカのマラウィ共和国Malawiで2年間の任務に就くことを報告しました。松永さんはこれまで旭川市内で家具製作の技術を磨いてきましたが、そのノウハウを活かし、アフリカのマラウィ共和国で家具製作技術を普及する活動に携わります。松永さんは、3月25日に出国し、マラウィに向かいました。

**3月21日(土) 喜茂別保育所の卒園式・終了式**

今年喜茂別保育所を卒園するのは、男子9人、女子4人です。佐藤昌昭所長から保育証書を授与された卒園児は、マイクを持って、将来の夢を披露しました。壇上で一緒のお母さんやお父さんが、卒園児にお祝いの言葉を伝え、保育所の先生方にお礼のメッセージを贈ります。卒園式終了後の会場で、卒園児から先生方にブーケがプレゼントされる、感動的なシーンとなりました。



**3月13日(金) 第38回喜茂別中学校卒業式**

14名の新たな旅立ちの日です。卒業証書授与後の式辞の中で、鈴木和則校長は「思春期の君たちとあいさつを交わしてきたことが、自分を支える力となってきた。」と言葉を結び、新たな門出を祝福しました。卒業生と在校生による別れの言葉は、ともに過ごした学校生活の思い出に触れます。全校生徒による最後の合唱が行われたのち、一人ひとりが在校生から花束を受け取り、涙でくしゃくしゃになりながら互いに精一杯の笑みを交わし合う退場光景となりました。



**3月19日(木)  
喜茂別小学校第62回卒業式**

喜茂別小学校の第62回卒業式では、演壇が広い体育館床面の一角に設置され、会場参列者の一体感をかもし出す演出がなされました。今年の卒業生は、男子6名、女子5名。学生服とセーラー服姿の卒業生が一人ずつ渡辺秋雄校長から卒業証書を受け取り、握手と励ましを受けます。在校生と卒業生がお別れの言葉を交わす場面では、全校児童がたくさんの思い出を呼びかけ合い、こだまのように響きあいました。